市政に対する一般質問

～～11名の議員が質問～～

9月定例会の一般質問は、9月19日及び20日の2日間にわたり行われました。なお、平成24年6月定例会から施行的に質問順は一括質問一括答弁方式と一問一答方式に分けず、抽選順となっております。質問の要旨は次のとおりです。

澁谷　政義	農業政策全般について	（一問一答方式）
伊藤　勝美	高齢者への支援について　他	（一問一答方式）
志村新一郎	これからの市政について	（一問一答方式）
佐久間儀郎	市税等の収納について　他	（一括質問一括答弁）
四竈　英夫	交通死亡事故ゼロを続け安全安心な地域社会を築くために　他	（一括質問一括答弁）
大町　栄信	企業立地推進について　他	（一問一答方式）
菅野　恭子	学校施設の非構造部材の耐震化推進について　他	（一問一答方式）
山田　裕一	さらなる企業誘致への取り組みについて	（一問一答方式）
水落　孝子	これから依拠したい産業について	（一問一答方式）
大野　栄光	市政に期待する施策について	（一問一答方式）
沼倉　昭仁	白石市の「放射能対策」について	（一問一答方式）

農業政策全般について

澁谷　政義

【稲作農家の担い手育成について】

〔質問〕若い担い手たちが農業経営に取り組もうとする時、多くの中山間地を抱える当市では農地の集積や規模拡大を図れば、重労働が加算され、又高価な農機具を抱え、経費だけが先行するのが現状である。早急に当市独自の担い手の育成を急がなければならないと思うが行政としてできる施策を伺う。

〔答弁〕【市長】担い手育成に中山間地域直接支払交付金事業の実施が挙げられる。又、耕作放棄地を防止するために、協定者同士の集団サポート体制が作られているところであり、機械の共同購入も可能となる。

〔質問〕今は団塊世代が中心だが、私は第三世代の台頭が欲しい。年齢・規模を特定化して支援体制ができないものか。

〔答弁〕【市長】農業の場合、人・農地プランを活用願いたい。

〔質問〕当市は農業に力を入れていないとの生産者の声があるが、例えば一番の重労働の畦草刈り等に助成はできないのか。

〔答弁〕【市長】畦草刈りに、中山間地域の直接支払、国の補助が使えると思う。

【水稲の病害虫防除について】

〔質問〕今年も、各報道機関にて斑点米カメムシ類の大量発生が報じられ当市において、去る7月13日に斑点米カメムシ類防除研修会が開催され、昨年同様の発生が予測されると警告されたが、調査は何か所で実施したのか。

〔答弁〕【市長】7月19日に市内10か所で調査し例年より少ないという結果が出た。

【鳥獣被害防止対策について】

〔質問〕当市は、野生鳥獣の被害防止対策として、電柵を用いているが、全地域を被害から守るには有効な対策とはいえない。捕獲処分が重要対策である。

今後も増え続ける野獣捕獲処分などを命がけで担う有害駆除隊に対する評価と捕獲処分等への助成の仕方は適正なのかどうか伺いたい。

〔答弁〕【市長】8月10日に白石市鳥獣被害対策実施隊を組織し、市の非常勤職員の身分となり公務災害に対する補償が行われる。猟銃免許取得時に助成、捕獲加算金の見直しは新年度予算編成時に検討したい。